

【学校教育目標】ふるさと”若木”を愛するたくましい若木っ子の育成



武雄市立若木小学校 学校だより5号

わかきっ子

令和4年6月17日 文責 校長 羽田野修

【学校のHPもご覧ください】 <https://www.education.saga.jp/hp/wakaki-takeo-e/>



ブーキーちゃん

梅雨入りしました！

九州北部地方が梅雨入りしました。これからしばらくは、じめじめしたうっとうしい天気が続きます。ここ数年、大きな水害に見舞われている武雄市です。今年は水害のない年であってもらいたいですね。



災害に備えて！

「親子で防災教室」が開催されました

6月7日（火）の道徳授業参観の後、育友会主催の「親子で防災教室」が開催されました。武雄市の防災・減災課の方から武雄市の水害の様子について話をいただいた後、親子で段ボールベッドとパーテーション作りを体験しました。「備えあれば憂いなし」水害に対してしっかりとした備えを日頃からしておくことが大事ですね。家庭でも防災について親子で考える時間をとってみてはどうでしょうか。



水害の様子について話を聞きました



協力して段ボールベッド作りです



ベッドとパーテーションができました



「花まるタイム」地域の支援員に来ていただいています

新型コロナウイルスの影響でしばらく中断していましたが、6月3日（金）から「花まるタイム」に地域の支援員のみなさまに入っています。子どもたちも久しぶりに支援員の方から大きな花まるをもらってうれしそうです。



「じょうずにできてるね」



「大きな花まるもらったよ」



「ありがとうございました」

オンラインゲーム等のトラブルに注意をお願いします！

これからの時代、インターネット等の特性を理解するとともに、うまく活用する能力が求められています。

このような中、インターネット上のトラブルが多くなっているのも事実です。本校でもオンラインゲームやSNSに熱中している子どもが増えてきており、生活に支障が出てくるのではないかと心配しています。オンラインゲームでは下のようなトラブルが全国的に発生しています。小中学生は、このようなトラブルを想定しながらゲームをするのは難しい年齢です。もし、子どもに使用を認める場合には、保護者のしっかりとした管理と指導の下でさせるようにして下さい。

また、オンラインゲームやSNSのアプリには対象年齢が設けられているものがあり、特に対戦型のオンラインゲームの多くは、中学生以下は対象年齢とはなっていません。対象年齢を定めるのはそれなりの理由があるはずですが、対象年齢になっていないゲームについては、子ども達にはさせないことを強くお勧めします。

学校でも、オンラインゲームなど、ネット上でのトラブルについては、生活アンケート等を実施し、学年の実態に応じて指導を行っていきたいと思っています。しかし、オンラインゲームやSNSの使用については家庭での指導が特に大切です。家庭でも、ゲームについてのルールを作ったり、オンラインゲームやSNSのトラブルについて話し合う時間を作っていただきたいと思います。

【オンラインゲームによるトラブル】

○没頭することによるトラブル

- ・夜遅くまで遊び続けることで睡眠不足や、体調不良になる。
- ・常にゲームのことが気になり、学習に集中できなくなる。
- ・相手をたおしていくような対戦型ゲームなどでは、聞くに堪えないような乱暴な言葉が発しながらゲームにのめり込んでいる。

※こういう状態が続くと、「ゲーム依存症」の状態になり、専門医による治療を受けないと回復することが難しくなります。「ゲーム依存症」は国際的に正式な病気として認められています。

○課金によるトラブル

- ・課金が必要なアイテムの購入をやめられなくなって高額になってしまう。
- ・親から課金を禁止されている子どもが、友だちにアイテムのギフト（プレゼント）を要求し、トラブルになる。

○人間関係のトラブル

- ・ゲームの優劣が、実際の人間関係にも影響してしまう。
- ・ネット上で集まって行うため、自分の意志ではやめられず、続けてしまう。また、参加しなかったり、やめたりすることでトラブルになる。